

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3 年 10 月 22 日

事業所名 児童発達支援事業所 なないろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	②	職員の配置数は適切である	5	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	毎朝、全職員で掃除、アルコール消毒を実施している。子どもによっては、支援に必要な物（気が散ってしまう物）を室外に移動させている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		第3者による外部評価は、法人として今後も予定していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	コロナの関係で研修機会が減少している。他の職員の支援の様子を見学した	園内で各々の支援を研修する。

					り、都度、課題の内容などの確認をしている。オンラインでの研修を積極的に受講するようにしている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	リーダーをサポートし、スムーズに支援が進められるよう支援の流れを共有している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	保護者からの意見や感想を共有し、支援の振り返りを行って、改善点などを話し合っている。業務の関係で、共有のための話し合いが、後日になってしまうこともある。	

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	⑲	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1		
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		全員が並行通園のため、交流会などは計画しない。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	0			

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	相談事は上司に報告、共有し適切な助言ができるよう心掛けている。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	集団支援でも定期的に保護者交流の機会を設けるようにしている	緊急事態宣言が解除されたので、延期になっていた「ママ交流会」を開催する。「父母の会」などは存在していない。また、今後も設ける計画はない。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	必要な子どもや保護者には手話も併用している。	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0		

④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0		
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	年度当初に、書面でアレルギーの確認をしている。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		今後、研修の機会を設ける。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	2		虐待はいかなる場合においても行わない。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙4

公表：令和 3 年 10 月 25 日

事業所名 児童発達支援事業所 なないろ 保護者等数（児童数）43名 回収数 35名 割合 88%  
 （長期欠席児3名を除く）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	7			もう少し広いとなお良し。	スペースは変えようがないので、今後もグループ定員の上限5名を継続し、5階も有効に利用していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	35					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	32	2	1		入口の段差やタバコ屋さんが気になります。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	34	1				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	35					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	34	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	35					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	9	7	7	コロナなので仕方ないと思っています。コロナ禍のため。今年のコロナ流	通園児のほとんどが、幼稚園・保育所との並行通園なので、今後も定期的な交流は予定しています。

							<p>行の観点から、感染防止対策のため、交流機会についてはしかたのないことと感じている。なないろでの交流はまだない。(コロナというものもあると思いますが) まだ、保育所などに通っていないため。</p>	<p>せん。</p>
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	5				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	4			1	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	8	5	1	1	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	5				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	4	1			<p>毎回フィードバックの時間があるため、相談しやすい。</p> <p>ありがとうございます。今後も継続します。</p>
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	5	1	3	<p>コロナのためなくなったと思われる。感染防止をしながら、できる限り機会をもうけていると感じている。コロナの関係で、できなかった行事や保護者交流でしたが、通常は定期的開催されており、とても良いと思います。</p> <p>延期になっている行事もふくめて、コロナ感染の状況をみながら、感染防止に努めて計画していこうと思っています。</p>

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3 4			1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3 5					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2 8	3	1	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3 2	1		2		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2 6	4	1	4		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2 1	6	2	5	避難訓練は一度ありました。	例年通り、グループ支援時に実施する予定です。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3 3	1		1	特にグループ支援を楽しみにしている。まだ始めたばかりなので。ただ、少しずつ慣れてきたように思います。	ありがとうございます。今後も子供たちのために精進してまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3 5					ありがとうございます。これからも満足していただける支援を提供できるように、職員一同精進してまいります。今後とも、ご協力よろしくお願いいたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。